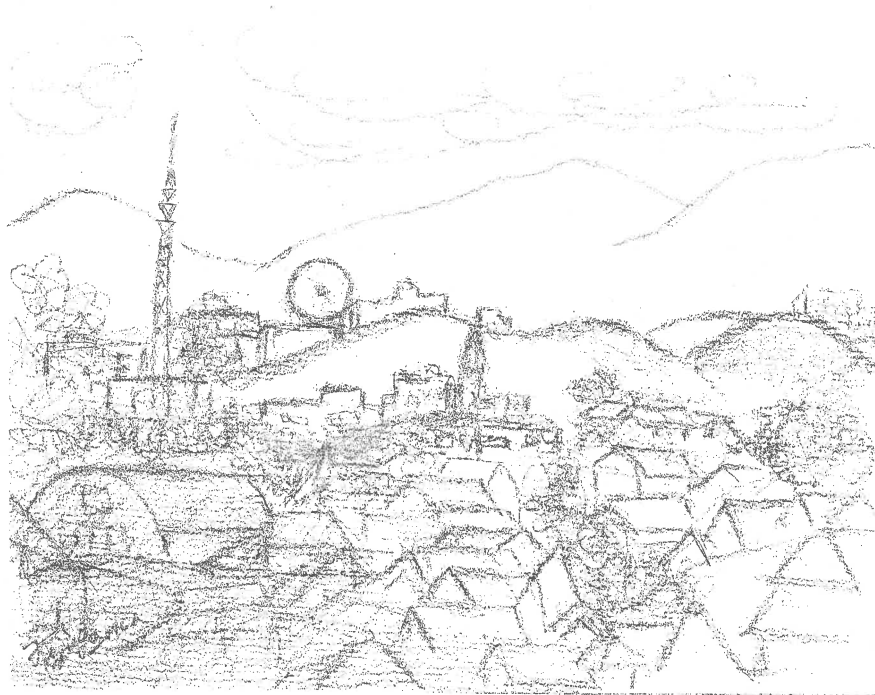


# 吹田の郷

発行/NPO法人すいた市民環境会議 事務局/〒564-0062大阪府吹田市垂水町3丁目8-28.106 TEL/090-8375-0647 FAX/06-6386-9491 中村小夜子  
会長/小田忠文 ホームページ <http://www3.big.or.jp/%7Esskk/sskk.htm> 設立/1997年3月15日 編集長/山本富雄  
年会費/正会員(個人・団体)1,000円、正会員(法人)10,000円、購読会員1,000円、賛助会員10,000円 郵便払込口座番号/00980-3-28845



## 目次

コラム	会長・小田忠文	……	2頁
吹田の古木大木	8年目の再会	生きもの委員会	…… 3頁
活動ニュース	生活環境委員会	……	4～7頁
文化施設探訪	大阪大学吹田キャンパスを訪ねて	小原淳男	…… 8頁
	変貌する千里丘	浅田都司男・山本富雄	…… 9～10頁
文化施設探訪	万博記念公園・日本民芸館他	筏 隆臣	…… 11頁
	自然と文化⑥ 「家紋」	秋山こずえ	…… 12頁



今年はずいた  
市民環境会議  
(以下、当会)が  
発足して10年目

の年になる。当会が発足したのは「行政との協働」という言葉がまだ使われていなかった時代だった。そのような時代に、個々の市民団体が個々に行政や企業と話をより、行政や企業と対等に話しあうことを目標として、多くの団体から個人が集まり、環境問題全般に関わろうとの思いを形にしたものが当会である。

▲当時は激しい勢いで市内は住宅に、マンションに、と開発されつつあった。私たちには「今、吹田の姿を市民の目で記録として残さなければならない」との思いがあった。しかし吹田市内の自然環境を調査した記録がなかった。そこでまず、「専門家でなく、市民が市民の目で調査をし、少しでも多くの人に市内の自然環境に関心を持ってもらおう」という姿勢で、古木大木マップを作成した。▲引き続き、吹田市の委託などでツバメの巣マップ・ため池の生きものマップ・ヒメボタルマップ・公園の生きものマップ・街路樹マップ・吹田の野草マップを作ってきた。▲古木大木の冊子をたずさえ市内を歩くうちに「吹田をもっと知りたい」との思いから、市の委託で「市民のための市民の観光マップ」を作った。「あるック吹田」である。多くの市民が吹田を知り、まちの環境を見直すきっかけになったのではないだろうか。▲地球温暖化

防止に関する動きも年々広がっている。2005年度には市民共同発電所に取り組むことができた。これは吹田に太陽光発電パネルが満ちあふれるまで続くのだろう。▲ごみ問題、省エネ、池の環境、ヒメボタル、紫金山の里山作業などで他団体との共同の事業も広がっている。▲活動して体験した内容から提案・提言をつくり市に要望書として出してきた。9年間で通算40通くらいになる。▲行政の姿勢も変わってきている。職員も「苦情を言う市民」との考えから「共に考え行動する市民」と考える人が増えてきている。しかし、「協働」という言葉のもと、市民を安く使おうとしている部署もあり、「行政主導の協働」などと言う職員もいると聞く。行政との関わりはまだ発展途上である。▲一方、企業とはどうであろうか…。ジャスコ南千里店、ディオス北千里専門店会とは共に協力しあう道筋はできている。しかし、企業に対応するために平日の昼間動くことのできる会員の少なさがネックではある。今後の課題である。▲年頭にあたりこの9年間をふり返ってみたが、以上の動きの多くは一部の会員と役員だけで動いてきたもので、250人も会員の皆さんに参加して頂けているわけではない。もっと多くの会員の皆さんと一緒に動き考えるにはどうしたらよいか、理事がずっと悩んでいるところである。具体的によいお知恵のある方からの助言を是非お願いしたい。

# 古木・大木の8年間の生長を確認

12/18 開催『せせらぎの道～関大』観察会報告

生きもの委員会 平 軍二

今回の観察会はすいた市民環境会議がスタートした97年に実施した古木・大木調査結果と、01年に実施した街路樹調査結果の両方をドッキングし確認する観察会として、3つのポイントを設定した。

- ①紫金山公園西側の古木
- ②せせらぎの道の街路樹
- ③関大クスノキの大木群

## ①古木・大木のサイズ

紫金山公園西側では古木・大木にリストアップされている1本立ちの木、アベマキ(写真)とエノキについて、幹周りを測った。



その結果は下記のように、

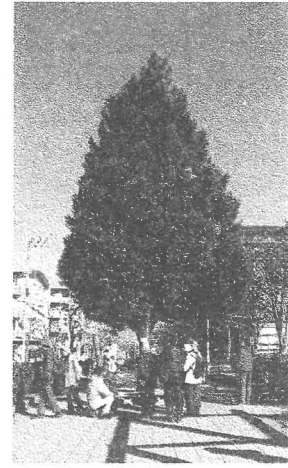
	97年	今回
アベマキ	210cm	→ 240cm
エノキ	244cm	→ 280cm

と、測定精度に問題があるとしても太くなっている、大木が順調に生長していることを確認できた。

## ②せせらぎの道の街路樹

せせらぎの道には100種近い街路樹が植えられていることを01年の調査で確認している。五月ヶ丘南の歩道の中心にあるトランプの「スペードのエース」に見えるレイランディ(写真)、佐井寺南ヶ丘ではスエシカ(両種ともヒノキ科

の外来種)、お正月用にかかせない果物キンカン、そしてライラックの実など、せせらぎの道に植えられた珍しい街路樹を観察した。



## ③吹田市最大の木クスノキ

関大は学問の府であるとともに大木の府、97年調査で校内に47本の木を確認している。吹田市最大の木である9本立ち1223cmのクスノキ(写真)、1本立ちでは最大445cmのクスノキなど多数のクスノキを観察した。

寒い日に参加された12名の方々と古木・大木と街路樹、様々な木々を楽しんで終了した。



\*\*\*\*\*

## 次回予告

## 七草試食会

日時: 3/26(日)午前9時～午後1時頃

内容: 毎年恒例となっている20種前後の野草を食べる会を今年も開催します。

場所その他: 詳細計画中(次号で連絡)

吹田を  
ソーラー  
タウン  
2005

「地球温暖化防止タウンミーティング」を12月2日（金）午後7時からメイシアターで開催しました。

これは、大阪府地球温暖化活動推進センター主催でNPO法人すいた市民環境会議は吹田市での実施団体ということで協働して開催しているものです。

タイトルは昨年のテーマを一步前進させたという気持ちを込めて「吹田をソーラータウンに！2005」。内容は「みんなで作る古江台中学校ソーラー発電所」です。参加者50人。

## 第1部 「自然エネルギー導入の可能性と未来」

コーディネーター：久 隆浩さん（近畿大学 理工学部教授）

パネリスト：阪口善雄さん（吹田市長）

横内 環さん（吹田市立古江台中学校校長）

山本光平さん（DIOS 北千里専門店会会長）

喜田久美子（NPO 法人すいた市民環境会議理事）



コーディネーター 久教授スウェーデンで環境問題について“眠っている活動家500万人”をどう起こしていくかと提起されているように「環境」に関心のない人へ伝え、関心を高め、市民のライフスタイル変革へと高めていくことがこれからの課題です。この古中ソーラーの活動は千里のまちづくりを持続可能なまちへとするひとつの大きな動きです

喜田「みんなで作るソーラー発電所」は地球温暖化防止の取り組みの一環です。さまざまな活動を通じて、安全でクリーンなエネルギーを使いたいと願い、昨年（04年度）のタウンミーティングの中で開設準備会の「あった会」を作りました。夏、ビオトープを作っていた古江台中学校の横内校長と出会い、10月には実行委員会設立となりました。実行委員会には学校、PTA、地元商店街、NPOなどが集まりました。

啓発活動や、カンパ活動を通じて、環境問題への理解と協力をお願いしています。この活動は、多くの人と出会い環境の話しをする契機となっており楽しいけれど、楽ではありません。さまざまな「壁」も経験しました。夢を実現させるために皆さまのお力をお貸しください。

吹田市立古江台中学校 横内校長 古中は43,000㎡もあり、自然に恵まれています。生徒は卒業して初めて母校の自然の豊富さに気づきます。子どもたちが自ら一步踏み込んで、自然のサイクル、循環を知り、自然のありがたさを感じる必要があるのではないかと考え、総合的学習の中でビオトープづくりに取り組むことにしました。地域の方、保護者にも手伝っていただき、大阪自然環境保全協会やSELFの方にもお話いただきました。

環境教育の目的とは、一つ目は「命の大切さを学ぶ」、二つ目は「持続可能な循環型社会の形成者を育む」ことです。一連の活動の中でのキーワードは「つながり」「きづな」です。ビオトープのポンプの電源は環境にやさしいソーラーがいいなと考えているところで環境会議と出会いました。地域に根ざしたこれらの活動を通じて、子



どもたちが持続可能な循環型社会を身をもって体験してほしいなと思っています。今年、環境教育推進法の方針が出された。「持続可能な開発のための教育の10年」の初年でもあります。テーマは環境だけに留まらず、エネルギーの問題・社会文化・人権、経済も。環境教育を通じて広く体験していただけたらいいなと思っています。

**北千里ディオス専門店会 山本会長** 北千里の駅前で商売をしてきましたが、生き残りのためには、やり方を変えざるを得ない状況です。より深い情報のご提供、信頼を得ることに加え、地域の一旦を担うことが必要と考えています。

4年前、産業労働室の声かけでシンポジウムを開きました。シルバー、レディス、キッズという地域に密着した方々と、商業との組み合わせを考えてみました。これを契機に久先生に座長をお願いして月に1回「ディオス地域交流研究会」を開催、明日50回目になります。この会議でさまざまな方に会えた。携帯に不審者情報のシステムを流す「ネットコム」など、学校とディオスをつなぎ、地域で子どもを育むさまざまな試みをしています。100インチのIPPOビジョンを活用してガンバを応援し、ここで古中ソーラーのキャンパ活動もしてもらいました。

私たちがご縁を結ぶことによってできることがあります。買い物をして「ゆめシール」というのを集めていただくと、大きなお金をつけてお返しします。1+1が2以上になるような場の提供をしたいのです。理念だけでは続かない。人、物、金を提供する仕組みをこれから作るんです。いろんな方の力を借りて吹田市がソーラータウンになったとき、うちの商店街もちょっとお役にたったかなと。

**吹田市 阪口市長** まちづくりの転換期の中、協働と教育、協創という概念を行っています。協創とは、行政と市民地域が新しい公共の部分を創造していく、そういう新しい時代が来ていると考えています。

行政と市民がコラボしながら、市民、地域から提案をいただく時代になっています。これが自立したまちづくりのモデルとなるでしょう。ロハスといわれるような健康で美しいまちづくりをめざしています。自然環境と都市環境の共存による「持続可能な社会」として、吹田市はその条件をもっています。これからの行政は「公的責任」を限定していかなければならないと考えます。これからのアウトソーシングを考えると、市民、地域への移転をどのようにおこなっていくかがポイントです。この取り組みはそのひとつのモデルと思っています。

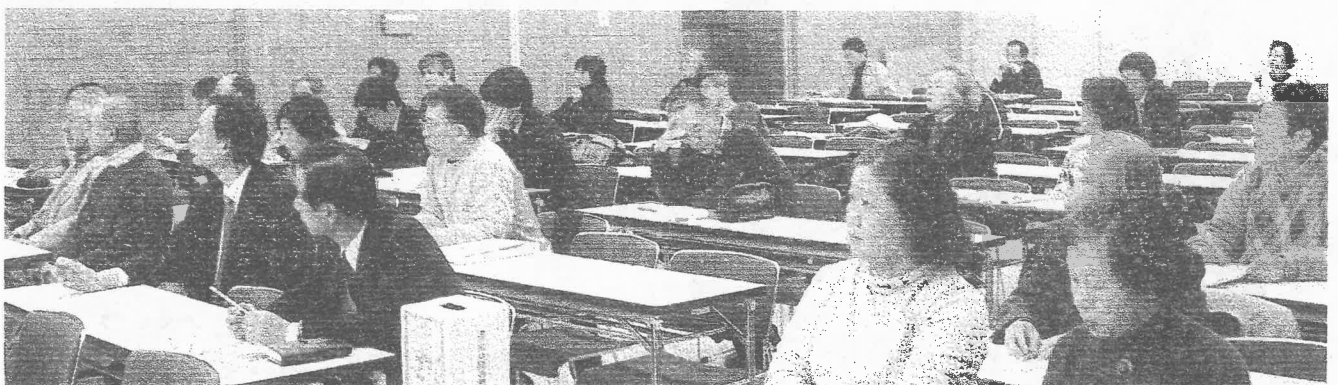
**久教授** 持続可能性ということばが出ましたが、たんに環境におけるエネルギーや物質の持続可能性でなく、じつはこういった取り組みそのものが、持続可能でなければならない。そのためにはお金も循環し持続可能にしなければならない。このソーラー発電の試みもどう持続可能にしていけるかです。

「ゆめシール」というのがあります。お買い物シールを集めていただくとキャンパとして基金になる。みんながハッピーになれる試みといえるでしょう。

また、環境のキーワードは循環だが、地域の人と人との循環がそれぞれの人がつながっています。お顔が違う、得意技が違う方が集まったほうがいいということでした。それが、北千里でできているのですね。



ロハスは健康で環境を破壊せず維持できるライフスタイルという意味  
L ifestyles O f H ealth  
A nd S ustainability の頭文字



## 第2部 フリー トーキング

**質問：**市長は吹田は全国の動きを先駆けて体現していると言われました。ニュータウンがオールドタウンに変わってきている、そのなかでロハスという美しい町というのはどうしてつくっていくのか。市レベルでのまちづくりの理念をお聞きしたいと思います。

**阪口市長** 大規模団地の立替が始まっている千里は、高度成長期にできた東洋一のニュータウンですが、21世紀はリニューアルモデルになるべきです。保全するものは緑とオープンスペース。改善するもの、創造するものもあります。北大阪の街にはロハスな人が大勢住んでいます。また重要な地点に商店街があり、関西の先進施設もある。千里を、北大阪を先導する21世紀の輝く町にしたいと考えます。21世紀のまちづくりとして、持続可能なまちづくりのモデルにしたいと思います。人の力で千里の再生を図っていきたいということです。いま、市民が自ら立ち上がっていろいろな試みをやっています。ニュータウンは40年たち、60歳代の男性パワーが帰ってきている。この力の活用も一つの手掛かりだろうと思っています。



## 第3部 大阪府の温暖化防止施策について

### 大阪府みどり・都市環境室・地球環境課 柳原和浩総括主査

みなさん、すごいパワーやなとびっくりしております。体感的には地球温暖化は始まっており、大阪はかなり進んでいる。平均気温1℃2℃の上昇はたいしたことがないように見えるが、猛暑や暖冬などの平均気温の差は1℃です。今年、府民共同発電補助事業にNPO法人すいた市民環境会議の取り組みを採択しました。大阪府の自然エネルギーの目標発電量は40万kWhです。ソーラー発電をつけると一般に省エネ行動をとって電気使用量が減るといわれています。意識啓発により、省エネ行動につながり、啓発効果が大きいのです。この古江台中学校のソーラーの活動は地域のさまざまな主体が集まって取り組んでおり、府民共同発電事業として、理想的なかたちと考えています。

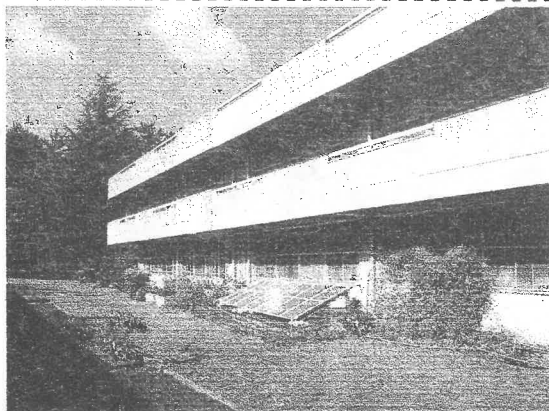
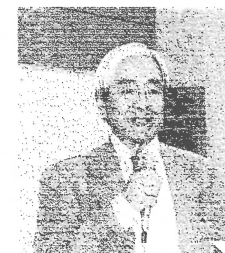


活動への理解と協力、  
カンパをお願いしました。

### NPO法人すいた市民環境会議 小田忠文会長

南極の氷山が流出、崩れていくようすを雑誌の写真で見ました。2000年から4年間に地球が太陽光を反射する割合が0.15減った、白い成分がなくなっているということです。これからどんどん暖かくなってくるかなということです。

地球温暖化は科学的に証明されていないという意見がありますが、いずれにしてもわれわれのライフスタイルを変え、CO<sub>2</sub>を減らすことは間違いないこととやってやっています。



12月3日  
北千里駅でガンバ大阪を  
応援するイベントでの  
カンパ活動。  
ガンバ優勝しました！

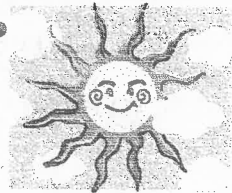
できたら、こんなかな～

古江台中学校ソーラー発電システムの設置イメージ

実行委員会で設置業者を決定しました。200万円で設置します。

# アンケート結果です。

アンケートにお答えいただき  
ありがとうございました。



## ●興味深かったことは、どんなことでしたか？

協働で動いたら活動が加速しました。人との  
出会いが次の出会いにつながっています。

- (-) 市民・商店会・学校の組み合わせで一つの事業が進められていることが大変すばらしい。
- (-) 北千里での人と人とのつながりがすばらしいと思った。
- (-) 市民共同、行政・地域との協働状況がよくわかった。
- (.) 行政・学校・商店街・NPOのかかわり、つながりに興味を持った。
- (。) 立場の違う人の生の声が聞けてたいへん参考になった。

ディオス専門店会の活動と理念を新しい動き  
として評価した感想が多かったです。

- (.) 商店街の取り組みは21世紀の商店街像だと思います。
- (-) 人と人とのつながりが大きな力になっていくことが興味深いと思います。その中に商店会が関わっていることがおもしろいと思う。大規模商店が台頭していく中で小さな商店が生きる道があるのだと示してほしい。
- (-) 商店会と一緒に活動されているという話をとてもおもしろく聞かせていただきました。「ゆめシール」の取り組みとてもすてきだと思いました。口頃商店街のポイントをせっせと集めて、自分の家のためだけにがぜん張り切っているのがすごく恥ずかしく感じた。
- (。) 商店街の人々が儲かるからでなく、人のつながりに協力する取り組みに積極的に関わっていることがすばらしい。
- (-) DIOSの取り組みは今後の商店街のあり方を示していると感じた。全員お話が上手でよく主張が理解できました。

## 2. 今回のタウンミーティングは

今後のあなたの活動に役立ちそうですか？

- ・大変役立つと思う…8/13
- ・少しは役立つと思う…4/13
- ・そう思わない…1/13



## ●ご感想・ご提案などをお書きください。

参加者が50人程度なのが残念。広報や声掛け  
にもっと知恵と工夫、人力が必要と実感。

- (.) 市長も参加され、ソーラータウンの取り組みがよくわかった。もう少し参加者が多ければよかったですおもいます。
- (.~;) せっかくのパネリスト、内容だけに残念。主催者の動員力不足が問われる。
- (.。) 主催である温暖化防止センターの顔がみえない。せっかく内容のある話、すばらしいパネリストなのに。
- (.。) 市役所ではできない「さすがNPO!」と言われる「何か」がほしかった。
- (.。) フリートークキングがもう少し活発になるような「しかけ」を考える必要があるのでは？
- (.~) 出席メンバー以外にどう知らせるかどう参加させるかの段階に入っている。

元気になる感想ありがとうございます。  
始めれば始まる、みんなでやればできる!

- (-) 具体的な取り組みがよくわかり、力づけられた。
- (.) タウンミーティングの内容、進め方などよかったですと思います。
- (-) コーディネーター、パネリストの方全員の発言が興味深かった。
- (.) 「皆がハッピーになるシステムづくり」という久先生のサジェッションすてきです。
- (0) 今後役に立てれば協力したいと思います。楽しく、多くの人たちとのつながりの中でコミュニケーションの場を広めていきたい。
- (0) パネリストの方々のパワーをみると、200万円といわず、2000万円、2億円の企画でもやっつけられる…そんな気がしました。ぜひ大坂一のリーディングCityになってください!!(私が住んでいる大坂市も負けません!?)
- (0) 国土交通省の示した千里を中心にまとめた「持続可能なまちづくり」の12ヶ条に「千里の道も一歩から」とあります。この活動も地域づくりのきっかけになるのではないかと思います。達成感から大きな力へとつながると思います。

地球温暖化防止 OSAKA アクション

ほんまかいな 20年後のおおさは亜熱帯

大阪ビジネスパーク・ツイン21

主催：大阪府地球温暖化防止活動推進センター

今秋開催の他の4市とともに「タウンミーティング」の報告をしました。ゲストの歌手原田伸郎さんも「何か一つやってみましょう」と省エネ行動をアピール。さまざまな団体がブースで活動発表をし、全国で22台しかないと言われている究極のエコカー「燃料電池車」の試乗会もありました。水素を燃料に静かな乗り心地ですが、2億ではね。

## 第7回 大阪大学吹田キャンパス

2005. 11. 22. (火)

寿町 小原 淳男

”いいでしょこのまち”文化都市「文化施設探訪」シリーズの第7回の大阪大学吹田キャンパスに参加した。当日の参加者は16名だった。

銀杏の黄色や桜などの紅葉が、快晴の広いキャンパスを明るく彩る一日は、地球総合工学建築都市デザイン学の鈴木助教授、吉村助教授にご案内頂き、改めて理解を深めることができ、意義ある一日だった。

まず銀杏会館を見学。緒方洪庵の「適塾」を源流として、充実した教授陣と整った付属病院を有する医学部・歯学部の歴史と現在の卒業生の活躍がよく理解できた。



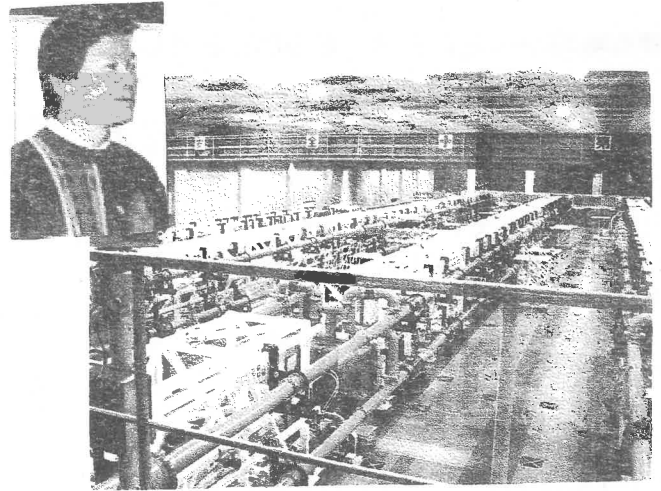
銀杏会館（医学部学友会館）の医学史料展示室を見学。適塾の緒方洪庵先生が出迎えてくれます。

次に工学部の歴史と現状について、資料と丁寧な説明のあと教育現場を実際に見学して、戦前から関西産業界との結びつきも深く、帝国大学として工学系は評価が高かったことが納得できた。

ハイライトはレーザーエネルギー学研究センターで村上助教授に核融合研究とエネルギー問題解決の鍵となる巨大な装置を見学し、世界でトップレベルの研究内容の説明を受けた。数年後の画期的な成果を期待する希望と感動で明るい気持ちになった。

更に近年文化、社会学系にも充実著しいなど、特色ある日本を代表する教育機関であると同時に、研究専任者も多数いて、大学の研究機関としての機能や充実ぶりがよく感じられた。

史料展示室や大学院工学研究科建築工学の部屋 →



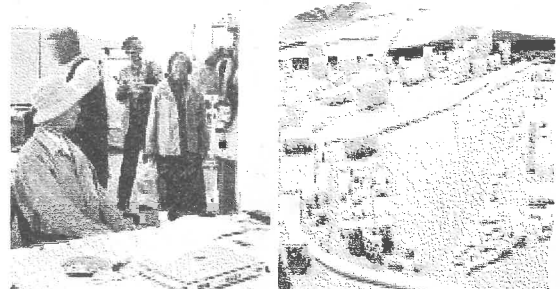
レーザーエネルギー学研究センターでは村上先生が未来のエネルギーについて熱っぽく説明してくださいました。

研究室での懇談で、特徴ある分野で、世界の研究機関や大学と密接な連携をとり、研究者や学生の交流も広く活発におこなわれ、成果を挙げている実情を具体的に伺って理解を深めることができた。

千里丘陵から、初冬の日差しの明るい吹田・箕面・豊中の丘陵と町並みを四方に展望する15階で、阪急ホテルが経営するレストランでの昼食を先生方と共にしながら、お互い楽しく充実した一日を噛みしめ、見学は終了した。関係の先生と企画及び関係者のみなさん有難う。

外国では、大学と「まち」が互いに尊重しながら交流を深め、市民は大学と学生を「わが町の誇り」と敬愛し、大学も市民との深いつながりの中に定着し、一体感をもって互いになくってはならない存在となっている所も見聞する。

吹田には大阪大学、関西大学をはじめとして綺羅星の如くの伝統ある大学や研究施設があることを今、我々はようやく気づき始めたようだ。





# 千里丘地域の変貌

05,11,09

浅田、山本

千里丘地域の変貌については、たびたび浅田都司男さんからの投稿によって理解してきたところです。'99年ごろ良く歩き、その緑と風景を楽しみ「あ、ルック吹田」を作成したことなどを思い出しながら、11月初旬、浅田さんと二人で歩いてみました。

皆さんにわかり易いように開発しているところ、これから開発されるところを白く塗りつぶし番号を記入しました。

- ①旧日本生命団地跡地
- ②旧富士銀行跡地
- ③毎日放送センター
- ④旧東洋紡績跡地
- ⑤旧三菱銀行跡地
- ⑥松下電器、パナヒルズ大阪
- ⑦私有地……となっています。



(千里丘全図)

## ①旧日本生命団地

※現在地質調査の為にボーリング作業をしています。

集合住宅、戸建住宅などの計画に変更はありません。

開発総面積95,480㎡

※本誌22号、37号で詳しく報じましたがキツネの森、約1600㎡は保存されるようです。地主や行政に当会も真剣に取り組みました。(写真下)

今後のあり方なども含めキツネが長く住めるよう注視していかなければなりません。



(キツネの住む森)

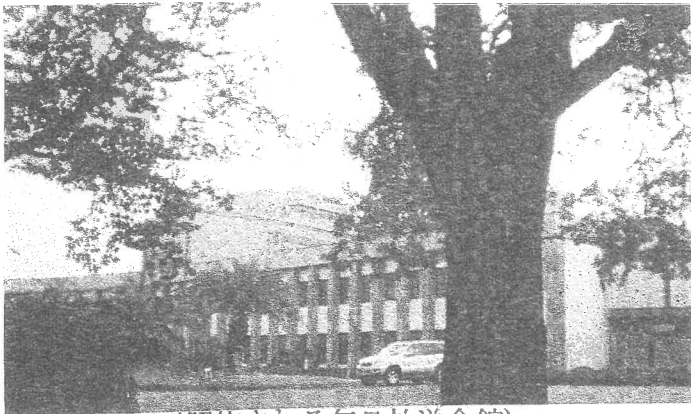
- ②跡地の北側は既に'04年8階～11階建のビル群となっています。フォーレストシティと呼ばれています。右の写真、手前のテニスは徳州会病院の建設が予定されているようです。9階建ての病院です。

(フォーレストシティのビル群と病院建設予定地)→



③毎日放送センター

現在センター内の毎日放送会館は一部が利用されていて、工事に着工する様子はないが、取り壊されるのは時間の問題らしい。一昨年'04年にテニスコート跡地には「マックスバリュ」という量販店が完成した。



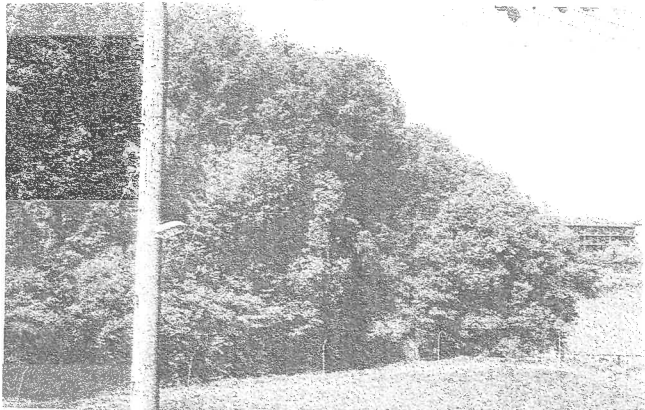
(解体される毎日放送会館)



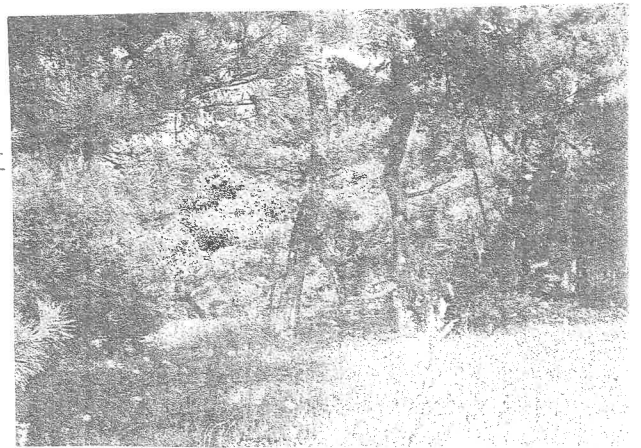
マックスバリュ

④「旧東洋紡績」跡地は戸建の注文住宅建設中である。

⑤「旧三菱銀行」跡地は既報(40号)の通りでこのあたりは赤松を主体に緑地の景観は周辺住民に大変好評で散歩道でもあった。



(三保池とパナヒルズの森)



(なくなる運命の放送センター地内のアカマツの林)

⑥三保池から見上げるパナヒルズの森もコナラ、アベマキ、桜などの大木が茂り癒しの森の一つです。再開発の時期や規模については不詳です。ただこの千里丘の原風景が一つずつ消えていってしまうこと残念です。

市当局は緑被率30%を目標建築開発の指導を行っているようだが業者の有効土地利用は基本法に定める17%内外が精一杯であろう。

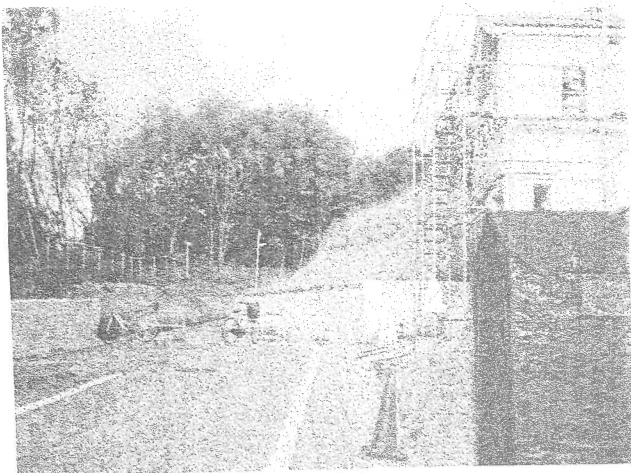
これからどれだけの緑が再生されるか……？CO<sub>2</sub>との関係でも千里丘周辺の多くの樹木がなくなることは残念です。

これも時の流れなのでしょうが？

⑦この私有地にはあまり注目していなかったが現在、戸建注文住宅が建設中である。

ここには巾1.5m程度の路地があり緑のネットワーク道として地道がある。これが周辺開発により自動車道となるためなくなってしまう……残念。

(写真左、自転車の見えるところから奥が足にやさしい地道。手前が新設される自動車道)



(緑のネットワーク道入口)

## 第6回 万博35周年 万博記念公園の日本民芸館

～万博公園 Part 2～

## 府立国際児童文学館・現代美術の森・万博記念館

2005. 10. 11. (日)

千里山西 後 隆臣

秋晴れの自然文化園中央口\*から、松岡理事の案内で、太陽の広場\*から「タイム・カプセルの木」へと進んだ。

「タイム・カプセルの木」は、自然文化園北にひっそりと佇む3本のアカマツで、万博の「タイム・カプセル」に納められていた種子が30年後の2000年に発芽して育ったものから選んだという。「タイム・カプセル」には、人類の平和と繁栄を願い、5000年後に現代文明を伝えようと、2098品が入っていたが、30年間も地中にあった種子が育つのは驚異的で、生命の大切さや環境を守る大切さを教えている。



## &lt;タイムカプセルの木&gt;

満開のバラが一杯の「平和のバラ園\*」、「平和を求めるモニュメント\*」を経て「大阪日本民芸館」に入る。

「大阪日本民芸館」は、民芸品を出展したテーマ館を、万博後に、「民芸運動」の西の拠点として開館したもの。

天雲(テクモ)常務理事と塗師(トシ)学芸員の丁寧な説明の下、「新収蔵品・日本の菓子型」100点、民芸運動の先駆者で陶芸家の浜田庄司初代館長の常設コーナー、「英国の古陶 スリップウェア」、「秋季特別展 タパの美—南太平洋の始源布」と、見学した。

始源布は、熱帯地域で近年まで伝えられてきた、織布以前の始源的な樹皮布で、(カジノキなどのクワ科植物の樹皮から外皮を除いて、内側の靱皮繊維だけをとりだし、木の台の上でハンマーを用いて根強くたたきのぼしたもの)南太平洋地域のものが「タパ」と呼ばれ、一般に素朴だが、極めて繊細な文様を持つものもあった。

(\*の詳細は、第4回を参照)



## &lt;民芸品を集めて展示してあるテーマ館&gt;

「大阪府立国際児童文学館」は、1984年に開館し、明治から現代までの世界の子どもの本の宝庫で、児童文学を中心に児童文化に関する図書、雑誌や研究資料等を幅広く収集・保存する(71万点)、児童文学等に関する総合的、国際的な資料・情報・研究センターだった。

見学当日には、小展示「賢治曼陀羅 泉啓一追悼ガラス絵展」があり、「銀河鉄道の夜」など宮沢賢治の世界が楽しめた。

小松主任専門員の案内で館内を見学した。書庫には、マンガ、紙芝居、玩具等がギッシリと詰まっていた。

「現代美術の森」は、万博開催35周年を記念して、7月より自然文化園北にオープンしたもので、清楚な森の中にある池や樹林と調和した自然の中で文化の香りを感じ取れるようにと、大阪府収集の現代彫刻13点を展示しているとのことだったが、今一つ環境とマッチしない、「檻の中の美術品」展だった。

「万博記念館(EXPO'70ホール)」は、万博出展の各国の工芸品・芸術品・資料が展示され、会期中の映像も放映されていた。これらは、万博開催35周年を記念して、7月にリニューアルしていた。

パビリオンに置かれていたスタンプの復刻版を押したりして楽しんだ。

「彩都メディア図書館」は、1992年開館で、写真を中心に、映像・美術・デザインに関する内外の写真集・作品集・展覧会カタログ・雑誌・ビデオ等27,000点を所蔵・公開する専門図書館である。LIFEの全冊所蔵、写真関係各種特殊資料の充実等は驚きであった。

## 家 紋

ウインドショッピングを楽しんでいた時のことです。お着物、帯のリサイクルショップが目につき、店内に入り正札をみてビックリ。「こんなに安く売ってしまうのか。」と。買って行く人の大半がインテリアに、また、外国人がお土産に買うようです。

婚礼品の一つとして持たされたお着物に躰糸がついたまま箆箆にねむっているという人が多いのではないのでしょうか、私もご多分に漏れずその一人ですが、その中に家紋のついたお着物が2、3枚あります。それぞれの家に家紋が伝わりその意匠の美しさに心魅かれます。

家紋には、動物、植物、天象、地形など自然から成された物、建物、器具、文字、模様などから成された物があります。

有史以前の人類は自分の身体に入れ墨をして、魔を防ぎ、神の加護を意識していたようです。入れ墨は身体のみでなく祭器、土器などにも施されました。これらが家紋の起源といわれています。

家紋は対象物となったものを本当によく観察していると思います。例えば、今では生活様式が変わり忘れ去られようとしている器具などが、身近な物として家紋に取り入れられています。鍬、五徳、櫛、笄、杵、扇、半鐘、槌、幣、鉞など、其の物の形がいくつイメージできますか。

動物、植物になると日々身の周りで見ているものが、こんなにも豊かで素敵に洗練されていることに驚きます。かたばみ、おもだか、茗荷、柊、銀杏、大根、撫子、堇、鉄線、水仙、桜、梅、藤、萩、楓、梨の切り口、葡萄、茄子、蕨、唐辛子、蕪、など書ききれないほどです。私達の先達は身の周り全てに心を合わせ、日々暮らしていたことを教えてくれます。私達も見習うことがたくさんあるように思います。

前回の「秋に鳴く虫」で欧米人にとって虫の声はノイズ・・・と書きましたが、丁度スイスからいらしている先生に質問をしてみました。「虫の声＝蟬の声で日本に来て四季と虫の声の美しさを知りました。」との答えをいただき「やっぱり日本の自然は素晴らしい」と納得しました。

1年間、お付き合いいただきありがとうございました。

### 《表紙は語る》

本号は藤が丘から万博公園の森をスケッチしました。箕面の連山も葉を落としすっかり冬支度になりました。彼等も万博の森と一体になって春は若葉、深緑、秋の紅葉と私達を癒してくれます。また子供達から大人まで楽しませてくれる大観覧車が霞むように見えています。吹田の原風景の一つだと思います。(吹田市長はこれを縄文の森と表現していました。)この風景は、これからもその時々の子供たちに吹田の自然について語りかけてくれる語りべとしての森であり林であるのかも知れません。大切にしたいと思いませんか。

蛇足ながら、前号の表紙は「関西大学 簡文館前のエノキ」です。今まで幾拾万人の学生達を癒し、彼等の卒業・社会への旅立ちを見守ってきた証人でもあります。(関西大学キャンパスには、この他クスノキやアベマキの大木が繁っています)もう一度、前号を、そしてできれば実物を見てください。(Y)

### 《編集後記》

\*H5N1型。恐ろしいウィルスが世界を恐怖におとしめている。人間界への(神の)怒りなのだろうか?それとも環境悪化現象に対する警告なのだろうか?他人ごとではないようだ。風邪をひかないよう留意しよう。\*新しい年がやって来た。「おめでとう」の声も華やかに・・・心からの「おめでとう」も心身の健康があってこそそのものだ。新たな一年の始まりにあたり、会員諸氏の健康とご多幸を祈りつつ、大活躍を期待したいと思う。(編集長)